築地中学校学校だより
築地（ついじ）

胎内市立築地中学校
令和３年10月27日
NO. 7
文責：校長　伊東　寿明
学校だより作成委員会

「仕事をする」ということ　（１０月４日の全校朝会での校長講話）

「仕事をする」ということについてお話しをします。

人生の中で、中学生は３年、高校生も３年、大学生は４年から６年、専門学校は２年くらいですが、それに比べて皆さんが「仕事をする」時間は、４０年以上です。とっても長いですよね。でもこの長い時間、たくさんの大人は、仕事を続けています。その力となっているものは、何でしょうか。

そもそも、なぜ仕事をするのでしょうか。お金のためと思う人も多いと思いますが、ただお金のためだけに４０年以上も仕事を続けられるでしょうか。

毎週火曜日の夜７：００からＴｅｎｙで「おもウマイ店」という番組を放送しています。その番組の中では、ラーメン一杯３００円や食べきれないような量の定食５００円など、とても採算がとれているとは思えないお店を経営している人たちが出てきます。でも、その店で働いている人は、みんな楽しそうで笑顔が絶えません。中には「客が来れば来るほど赤字だよ」と笑いながら話す店主もいるほどです。

この様子を見ていると、お金よりもたくさんのお客さんに自分の作った物を食べてもらい、「ごちそうさま、おいしかったよ」と言われることの喜びが何よりのやりがいになっているのだと思います。この番組に出ている人たちばかりでなく、いろいろな仕事をしている人を見ていると、仕事というのは、「人に喜んでもらうこと」「人の役に立っていること」が仕事をする原動力なのです。

このようなやりがいのある仕事を選ぶには、将来の夢や希望をもっていることが大切です。大人になったら、警察官になる、消防士になる、看護師さんになる、保育士さんになるなどの夢です。しかし、自分は何が得意なのだろう、したいことがないなあと思っている人も少なくないと思います。それも仕方のないことです。

夢や希望をもっている人は、自分がなりたい職業を調べたり、自分がその仕事をしていることを想像したりしているでしょう。また、他の仕事とも比べたりして、常に仕事に対する関心が高いと思います。今のところ将来の夢とか思い浮かばないという人でも、仕事に興味を持ってほしいと思います。この仕事は、どのようなことをするのだろう。どのように人の役に立っているのだろう。やりがいは何だろう。などと、考えてみることが大切なのです。そうすると少しずつ、仕事に対する興味がわき、将来こんな仕事に就きたいなあとか、こんなことをしてみたいなあと思うようになると思います。そうしたら、どのようにすればその仕事ができるようになるかを調べてみましょう。

１年生は、１０月１４日に市内の１年生全員が集まる職ナビゲーションが行われます。２年生は、職業講話でついじ保育園の先生とＪＸ石油開発(株)中条油業所の方からお話しを聞きました。３年生は、卒業生を迎えて高校生活についてお話しを聞き、これから高校進学等に向けて取り組んでいくところです。

いろいろな機会があるので、改めて仕事について考えてみてほしいと思います。

＜このお話しをした後に、本屋さんで、よくテレビに出てくるジャーナリスト池上　彰さん監修の「なぜ僕らは働くのか」という本を見つけました。半分くらいが漫画になっていて読みやすいです。生徒の皆さんが読むことのできる場所に置きますので、でひ読んでみてください。＞



築地中学校オープンスクールが開催されました。

９月２５日（土）に行われたオープンスクールでは、通常授業の他に、午前中に３年生の「卒業生に学ぶ会」が、午後には「いじめ見逃しゼロスクール集会」が行われました。

「卒業生に学ぶ会」では、７名の卒業生から来校してもらい、学校生活の様子や進路選択に関わるアドバイス等を聞きました。卒業生の立派な態度に感心させられました。

「いじめ見逃しゼロスクール集会」は、築地小学校の５・６年生と中学生全員で行いました。はじめに、小中学校がそれぞれのいじめ見逃しゼロの取組を発表しました。その後、「いじめの起きにくいクラスにするにはどうすればよいか」をテーマにして、小中合同の班で話し合いをし、その結果を全体で共有しました。最後に、いじめをなくすための「一人一宣言」を書きました。

これからも、「いじめを許さない学校」に向けて取組を進めてまいります。

（今回のオープンスクールは、感染症拡大防止のため、参観者を制限して実施いたしました。）



【３年生：卒業生に学ぶ会】



【いじめをなくすための取組発表】



【小中学生合同班での話し合い】

私の『一人一宣言』

１年女子：一人でいる子に声をかけて、一緒に話したり遊んだりして、悲しい・さびしい思いをさせないようにしたい。

２年男子：いじめをしない・させないために、そもそもいじめをする環境をつくらない。
いじめをされている人がいたら、自分たちのグループに入れる。

３年女子：誰とでも平等にコミュニケーションをとり、絶対に仲間はずれやいじめをしない。
一人でいる子には、声をかけ、みんなが楽しく学校生活を送れるようにする。

学校生活のスナップ



１年体育「ミニ駅伝」



２年人権教育、同和教育　授業研究会



３年国語　授業研究会

感動の合唱祭

合唱祭スローガン　**「響（ハーモニー）」　空まで響け７５の音**

１０月２３日（土）に合唱祭が開催されました。当日は約１５０名の保護者やお家の方からご鑑賞いただき、誠にありがとうございました。生徒たちは夏休み前から、役員の選出や選曲、指揮や伴奏の練習、パート練習等に励み、当日を迎えました。一つの合唱をつくりあげるために、それぞれのクラスでさまざまな葛藤があったことと思います。その葛藤を経験することが、生徒たちの成長に大きく寄与したと思います。

合唱祭実行委員長　「実行委員長としての合唱祭」

実行委員長として合唱祭に向けて仕事に取り組むことは、とてもたいへんでした。私はこれまで１、２年生の時も合唱祭実行委員を務めました。しかし今年は、実行委員長になり、仕事が倍になり、責任も増えました。自分ができるのだろうかと、最初は不安がありましたが、副実行委員長や実行委員、先生方、そして全校の皆さんの協力のおかげで、その不安はなくなりました。

合唱祭が近づくにつれて、実行委員長になってよかったな、という思いが強くなりました。今年の合唱祭は私にとって、特別なものになりました。ありがとうございました。



１年生の合唱



２年生の合唱



３年生の合唱



アンサンブルひばり（有志）

１年生「職ナビ」に参加

胎内市のキャリア教育の一環として、さまざまな職業を知り、体験する「職ナビ」が開催され、胎内市内の中学１年生と中条高校の１年生が参加しました。

各事業所の皆様のおかげで、職業について多くの事を学ぶことができました。





「職ナビ」に参加して

１年女子：今回、３つのブースを体験してみて、３つの職業すべてが「お客様のため」との思いがあって仕事をしていることが分かりました。私たちが安心・安全・快適に暮らせるようにどの仕事もたいへんだし、感謝しなければならないと思いました。私も、お客さんのためになる仕事をしたいと思いました。

１年男子：普段の生活から、いろいろな人に支えてもらっていることが改めて分かりました。これからも、日頃の感謝を忘れないようにしたいです。人のためになる仕事をするために目標をもってがんばりたいです。

栄　光　の　記　録

【下越駅伝大会】
男子２５位（３１チーム中）
女子１９位（２６チーム中）
【新潟県中学生人権作文コンテスト　新発田地区大会】
優良賞　２年生　「生きる価値」
【二市北蒲読書感想文審査会】
優秀賞　２年生　「本当に見なければいけないもの」
優秀賞　２年生　「あなたとともに」
※上記の２名は、下越大会に進み、共に優良賞を受賞しました。
【三市北蒲原郡地区児童生徒科学研究発表会】
奨励賞　物理・化学の部　２年生　「どうしたら汚れは落ちやすくなるか」
【新潟県競書大会】
金　賞　１年生
【胎内市中学校新人バレーボール大会】
第３位